



新しい職員のご紹介

4月より青山病院へ入社し、本館に配属となりました太刀掛 真未です。  
 以前は急性期の病院で6年間勤務しておりました。私は生まれた時から祖父母と一緒に住んでいたこともあり、お年寄りの方と接するのが昔から好きで、それがきっかけとなり看護師を目指しました。新しい職場での環境や業務内容に慣れるまでご迷惑をおかけすると思いますが、優しく丁寧に教えてください。先の方、患者様に支えられながら日々を過ごしております。  
 通勤は自転車とバスを利用していますが、いずれは車で通勤できるよう運転の練習をしています。  
 趣味はドライブや旅行、カラオケに行くことですが



現在はコロナの影響で外出自粛の風潮もあり、最近は家で流行りのオンライン飲み会や映画鑑賞などをして過ごしています。緊張感を持ちつつも笑顔を忘れず患者様やそのご家族様に寄り添える看護が行えるよう日々頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

歴史は繰り返す？ 看護部副師長 安田正郷

新元号「令和」に改まって2年目、世界は新型コロナウイルスによるパンデミックに混乱の中にあります。令和の出典は万葉集からですが、万葉集完成の奈良時代(737年)にも天然痘によるパンデミックが発生し、当時日本の総人口の約3割にあたる100万人以上が死亡したと推定され、政権中枢にいた藤原4兄弟も病死しています。これは現代で言えば、総理大臣や各府省庁の国務大臣が亡くなったようなものではないでしょうか。平安時代(994年)にも、都で天然痘が流行し、その際とある井戸水が病気に効果があると噂され、多くの人々がその水を求めて奪い合ったそうです。記録ではその井戸の水は泥水でどう考えても腹を壊しそうなものだったにもかかわらず、病気に恐怖するあまり人々は理知的な判断を失ってしまったようです。

現代でも、SNSのデマ投稿が発端をされるトイレトペーパー不足騒動を見ると、人々は誰かに何かを言われると動揺して冷静な判断を失ってしまうのは、今も昔も変わらないと言えそうです。現代は多くの情報を容易に得ることが出来ますが、インターネットの情報にしても、根拠のあるものを冷静な目で判断する力を養うことが大切なのではないでしょうか。



**盂蘭盆会**  
 お盆の正式名称は「盂蘭盆会（うらぼんえ）」といわれています。「盂蘭盆」はサンスクリット語の「ウラバンナ（逆さ吊り）」からきた言葉だそうです。「逆さ吊り」とは怖い名前ですが次のような由來が伝えられています。お釈迦様の弟子のひとり、目連尊者（もくれんそんじや）は亡き母が餓鬼道に落ち、逆さ吊りにされ苦しんでいると知り、お釈迦様に相談したところ、「僧侶が修行を終えた7月15日に僧侶を招き、饗応すれば母を救うことができ、実践したところ、母親は極楽往生が遂げられたことから、盂蘭盆会が始まった」といわれています。お盆は仏教的行事のように思われがちですが、日本は八百万の神を崇拝するアニマニズム的思想があり、先祖の霊を祀る「祖霊信仰」と「盂蘭盆会」が結びついて「お盆」となりました。神道でも仏教でも、同じように迎火・送り火を焚きますが、古来の風習や祖霊信仰が基になった行事なので、地域により祀り方は多様です。日本書紀によると、推古天皇が最初にお盆の法要を行い、広く一般庶民にお盆が普及したのは意外と遅く江戸時代に入ってからだそうです。本来のお盆は、ご先祖様の霊魂をお火に迎えて霊魂と一緒に家に帰って数日を共に過ごしたあと、再びお墓に送り届けるのが習わしでした。今は徒歩でお墓へ行き、送り迎えすることが難しくなり現在の「お盆の墓参り」の形になったようです。今はお盆を単なる連休と捉えがちですが、今年も昔ながらの風習を通して、ご先祖様に心から感謝する時間を設けてみるのも良いのではないでしょうか。



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時  
 土曜日 午前：9時～12時 午後：休診  
 休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：内科(交代制)	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：卜部・森本		午後：井料(脳神経内科)	
		(腎臓内科)	土曜日	午前：内科(交代制)	

季節の風景



ひまわり畑